

会 議 録

会 議 名	かえで義務教育学校開校準備委員会 総務部会 令和7年度 第1回会議
日 時	令和7年7月1日（火） 午後6時30分～午後7時50分
場 所	佐野市立西中学校 1階 第2理科室
出 席 者	<p>【参加者】（21名）</p> <p>別紙「委員名簿」のとおり （欠席者なし）</p> <p>【事務局】（計8名）</p> <p>佐野市教育委員会 教育部長 学校適正配置課 課長、係長、係員5名</p>
配 布 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第、委員名簿 ・ 資料1 佐野市立かえで義務教育学校の整備について ・ 資料2 佐野市立かえで義務教育学校開校準備委員会設置要綱 ・ 資料3 佐野市立かえで義務教育学校開校準備委員会 専門部会設置方針 ・ 資料4 西中学校区小中一貫校 開校だより 第2号 ・ 資料5 かえで義務教育学校 開校だより 第3号 ・ 資料6 かえで義務教育学校外観透視図（鳥瞰・アイレベル） ・ 資料7 「校章・校旗、校歌」 協議経過 ・ 資料8－1 校章の募集結果について ・ 資料8－2 校章・校旗の制作方法について ・ 資料9－1 校歌の募集結果について ・ 資料9－2 校歌の制作方法について

会議内容	<p>委員会の内容については以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 司会（学校適正配置課長） 2 出席者紹介（自己紹介） 3 概要説明 <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から資料１から６を基に説明。質疑なし。 4 部会長及び副部会長の選任について <ul style="list-style-type: none"> 委員長・副委員長を選任。 委員長：西中学校 校長 副委員長：旗川小学校 校長 5 議 事 <ol style="list-style-type: none"> (１) 校章・校旗、校歌の協議経過について <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から資料７を基に説明。 ・委員からの質疑は以下のとおり。 (委 員)今回提示されている２１案を見て、各グループで意見を出し合うのか。長時間を要すると思う。 (事務局)まずは、制作方法を検討してほしい。その後、この２１案の扱い方を話し合ってもらいたい。 (委員長)制作方法のアイデアを考えてほしい。 (副委員長)あそ野学園と葛生ではどのように決めたのか、補足で教えてほしい。 (事務局)いずれも、最終的に専門家が制作した。あそ野学園の場合は、色鉛筆画家である市内在住の安藤勇寿先生に依頼した。葛生の場合は、葛生中の卒業生であるクリエイターが所属する（株）ヨリヨークに依頼した。いずれも地域の方に、デザイン案、キーワード、思いをアンケートの方式で集め、その資料を専門家に渡し、デザインに反映していただく形をとった。 (２) 校章・校旗の制作方法について <ul style="list-style-type: none"> ・１５分間の時間を設けて各学校単位で協議を行った。 ・協議終了後、話し合いの結果を順に発表した。 <p>【天明小グループ】 一生懸命作って応募していただいたものは生かしてそれぞれの思いを大切にしたい。最終的には専門家に依頼する。あそ野学園、葛生がそうであったように、校名を入れることや、かえでの葉を入</p>
------	---

	<p>れることがよいという意見があった。</p> <p>【植野小グループ】 児童・生徒・保護者の範囲で投票をする。仕上げは専門家に依頼する。21案を見ている中では、案3、案7、案21がよいという意見があった。</p> <p>いくつか選んだものを、専門家に依頼するのか。</p> <p>(委員長)まずは、その方法を協議していただいている。専門家に依頼することで皆さんの考え方の方向性が同じであれば、そのように決定する。専門家に依頼するとしても、21案を大事にしたいという意見もあった。そういった意見をできるだけ多く集め、反映したい。案の中で中心となるデザイン案があるとすれば、それも専門家に伝える。</p> <p>【旗川小グループ】 21案の中から複数を選び、仕上げは専門家に依頼する。21案を見ている中では、案5は完成度が高く、よい。また、葛生は統合学校数である「6」をデザインに取り入れていると聞いたので、統合校の校名を取り入れた案9もよいという意見があった。</p> <p>【吾妻小グループ】 専門家に依頼する。せっかく応募された21案はすべて渡し、どの案を採用するかも含め、専門家に任せる。応募した方々も、専門家が仕上げたとなれば、納得がいくのではないかな。</p> <p>【西中グループ】 投票はしないで、専門家に依頼する。案3、案5のように、「かえで」の文字、かえでの葉のデザインが入っているのがよいという意見があった。</p> <p>・最終的に専門家に依頼する点では全グループの意見が一致していたため、<u>専門家に依頼</u>することで決定した。「かえで」のイメージを出してもらうこと、応募のあったデザイン案からできるだけ多くの要素を取り入れてもらうこと、幅広い学年の児童生徒が見てわかりやすいこと、を依頼する。</p> <p>(3) 校歌の制作方法について</p> <p>・15分間の時間を設けて各学校単位で協議を行った。</p> <p>・協議終了後、話し合いの結果を順に発表した。</p> <p>【天明小グループ】 学校区にゆかりのある専門家に依頼する。応募されたものの中には、学校区にゆかりの言葉が入っていないと感じた。例えば、現西中の校歌に「見</p>
--	---

	<p>晴らす富士も」という歌詞があるように、地域ゆかりの自然をイメージするようなキーワードを入れたい。「かえで」も入れたい。</p> <p>【植野小グループ】 専門家に依頼する。例えば、七軒町出身のダ・カーポ。案１が完成形に近いので、雰囲気をおののまま残した上で、各校の要素を散りばめて、最後は校名とする。</p> <p>【旗川小グループ】 作詞について、歌詞に盛り込んでほしい言葉を伝えた上で専門家に依頼する。「旗川」、「秋山川」など地域の自然をイメージする言葉を入れたい。教育目標を入れる。</p> <p>作曲について、キーの高さなど考慮した歌いやすいメロディーを、と専門家に依頼する。</p> <p>【吾妻小グループ】 作詞について、専門家に依頼する。ＡＩを活用した場合は、修正作業が大変なのでは。</p> <p>作曲について、現在の５校の校歌を渡して専門家に依頼。佐野市全体のイメージより学校区内の地域に絞ったイメージを重視してほしい。古典的な堅い曲調にするか、現代風なさわやかな曲調にするか、方向性を定めた上で専門家に依頼するのはどうか。</p> <p>【西中グループ】 作詞・作曲ともに専門家に依頼する。「かえで」の言葉はきれいだし、校名なので、詞に入れたい。小さな子どもから大人まで歌いやすいキーの歌がよい。</p> <p>・ <u>誰もが歌いやすい校歌の制作を、専門家に依頼することで決定した。</u>作詞について、地域の言葉や校名を入れること、作曲について、小さな子どもも歌いやすい曲にすること、を求める。曲調については話し合いの中で決める。専門家は、プロに準ずるアマチュアも可。候補の方がいれば、事務局に申し出る。候補が出ない場合は、委員長が事務局と相談しながら決めていく。制作者に対する報酬は、市教委による一定の負担もあるが、それを超えた場合は各校の負担となることを考慮する。</p> <p>６ その他</p> <p>・ 事務局から連絡。</p> <p>(事務局)次回の会議の開催は、９月から１０月を予定している。</p> <p>７ 閉 会</p>
--	---